



2014年度 第33回横浜開港祭 開催実施要項



“Thanks to the Port” 「開港を祝い、港に感謝しよう」
～ 市民の笑顔と共に未来へ繋ぐ誕生祭 ～

1.開催主旨 日本の開国の先駆けとして開港し当時人口1000人程度だった小さな村は、その歴史から文化・経済の交流拠点として発展し、155年の時を経て人口370万人を有する大都市となり、現在も開港当時のスピリットを引き継ぐべく、世界の人々が集まる交流拠点都市を目指し発展を続けております。1981年に第1回横浜国際デー“プレ横浜どんたく”として産声を上げた横浜開港祭は初夏の訪れをつげる横浜の風物詩として定着し、本年で第33回目の開催を迎えます。私たちはその歴史をしっかりと受け継ぎ、時代に合った工夫を取り入れることで、まちづくりと観光の活性化を継続的に実現していかなければなりません。

第33回横浜開港祭は、5月31日・6月1日・2日の開催とし、“Thanks to the Port”「開港を祝い、港に感謝しよう」～市民の笑顔と共に未来へ繋ぐ誕生祭～をコンセプトに、笑顔溢れる豊かな横浜のために、未来へ永く繋がる礎となる横浜開港祭を実施致します。

我々の原点である港に感謝をし、開港という歴史にしっかりと触れていただき、横浜市民が積極的に参画することで、横浜の更なる発展に維がる礎となってまいります。現在の横浜を支えている大人たち、次世代を担う子どもたち、さらには孫の世代にいたるまで全ての市民が一体となってその誕生祭を共に創り、祝ってまいります。1年に1度、横浜市民として自身のアイデンティティを実感していただく日となることで、毎年の恒例行事として横浜市民が心待ちにする笑顔溢れ、未来に永く繋がる「横浜開港祭」を創り上げます。

- 2.開催目的**
- (1)市民と共に横浜開港記念日を祝い、港へ感謝する
 - (2)市民参画型「市民祭」の拡充
 - (3)笑顔あふれる豊かな市民文化の創造
 - (4)港町横浜らしい活力あるまちづくり
 - (5)横浜の観光と経済の活性化

3.開催時期 2014年5月31日(土)・6月1日(日)・2日(月)

4.開催場所 臨港パーク及びみなとみらい21地区、新港地区、その他周辺

5.主催 横浜開港祭協議会
横浜市 横浜商工会議所 (公財)横浜観光コンベンション・ビューロー
(一社)横浜青年会議所

6.後援

読売新聞東京本社横浜支局 tvk(テレビ神奈川) 朝日新聞社横浜総局 毎日新聞社横浜支局 アール・エフ・ラジオ日本 (公財)帆船日本丸記念財団 (公財)マリンスポーツ財団 東京新聞横浜支局 (株)横浜銀行 (公財)よこはまコース	神奈川新聞社 神奈川県 NHK 横浜放送局 産経新聞社横浜総局 横浜エフエム放送(株) (株)ぱど 横浜港ポート天国推進連絡協議会 横浜市ケーブルテレビ協議会 (株)タウンニュース社 その他予定(順不同)
---	---

7.協力

(公社)神奈川県観光協会 横浜市町内会連合会 (株)ポートサービス 第三管区海上保安本部 日産スタジアム ヨコハマ経済新聞 横浜元町ショッピングストリート (協)伊勢佐木町商店街 馬車道商店街(協) 横浜高速鉄道(株) (株)ダイエー 赤い靴記念文化事業団 横浜・八景島シーパラダイス 国土交通省関東地方整備局 京浜港湾事務所	パシフィック横浜 (一社)横浜港振興協会 横浜海上保安部 (株)横浜スタジアム 横浜マリノス(株) (独)都市再生機構神奈川地域支社 横浜中華街発展会(協) 伊勢佐木町1・2丁目地区商店街振興組合 (株)横浜フリースポーツクラブ 鎌倉エフエム放送(株) (株)ロイヤルウイング (独)航海訓練所 (公社)神奈川県産業廃棄物協会青年部会 ヨコハマ未来地図づくり100人委員会 その他予定(順不同)
---	---

